

普及啓発・人材育成専門委員会
第4回会合 議事要旨

1 日時

平成24年2月14日（火） 16:00～17:30

2 場所

内閣府庁舎別館9階 大会議室

3 出席者（敬称略）

(委員長)	林 紘一郎	情報セキュリティ大学院大学学長
(委員)	小泉 カ一	尚美学園大学大学院教授
	土屋 大洋	慶應義塾大学大学院教授
	高橋 正和	日本マイクロソフト株式会社チーフセキュリティアド バイザー
	西澤 敬二	株式会社損保ジャパン取締役常務執行役員
	西本 逸郎	株式会社ラック取締役最高技術責任者
	野坂 雅一	株式会社読売新聞東京本社論説副委員長
	野原 佐和子	株式会社イプシ・マーケティング研究所代表取締役社長
(事務局)	櫻井 修一	内閣官房副長官補
	占部 浩一郎	内閣審議官
	種谷 良二	内閣審議官
	佐々木 良一	内閣官房情報セキュリティ補佐官
	徳田 英幸	内閣官房情報セキュリティ補佐官
	泉 宏哉	内閣参事官

4 議事概要

(1) 論点整理

事務局より資料1に沿って説明。

(2) 今後のスケジュール

事務局より資料2に沿って説明。

<主な委員等発言>

- 独立行政法人情報処理推進機構が策定中のキャリアパスモデルを、報告書に例示として示せないか。
- 人材育成計画の策定や産学官の連携を推進する際も、インセンティブを与え取

組を促すような施策も絡められるのではないかと。

- 法律家を政府や企業の組織にどうやって巻き込んでいくのかについても盛り込んでほしい。
- 子供たちが最低限どういう資質なり能力を備えなければならないのかについて、報告書に具体的なものを加えてもらえるとありがたい。
- セキュリティの少なくともテクノロジーに関しては工学的なアプローチが必要であることが、本日の論点資料に見えてこないのが気になる。属人的でないセキュリティ対策を実施、構築、運用するため、セキュリティ上の問題をモデル化、一般化できる能力がセキュリティ担当には必要ではないかと。
- 産官学を横断して育てていこうという理念があることは良い。日本全体でセキュリティ人材を育てていくという部分でのキャリアパスがうまくできると良い。
- 企業の人事採用担当に分かりやすいような採用時の情報セキュリティ人材のスペックのひな形があると良い。
- セキュリティ人材の質や量について具体的な目標設定をした上で施策を考えていく必要がある。
- 重要な情報を扱うのかどうか、企業の規模が大きいのかどうかで分類して考え方の整理をすると良い。
- 経営陣の意識改革にはリカレント教育が有効ではないかと。
- リカレント教育等の高等教育機関による取組については、全国展開というよりは今ある拠点の強化など集中的に行うべきではないかと。
- 報告書全体をまとめる際には、分かりやすい形で、メッセージ性があり、キャッチフレーズ的に人をひきつけるようなものにしてほしい。

等

－ 以 上 －